

2021年6月11日

お取引先様各位

日本軽金属のアルミ板製品、検査成績表の内容変更について

三和精鋼株式会社
代表取締役 眞部彰彦

前略 平素は格別のお引き立てにあずかり誠に有難うございます。標記の日本軽金属株式会社（以下文中では日本軽金属と呼びます）名古屋工場のアルミ板製品のJIS認証取消しにつきまして、お取引先様に対してご心配、ご迷惑をお掛けしていること、まずはお詫び申し上げます。 去る5月25日、当社として日本軽金属のJIS認証状況の報告と当社の対応についてご説明を申し上げておりますが、その中の、検査成績表(ミルシート)の記載内容につきまして、日本軽金属より、再度の変更がある旨の連絡を受けましたので、その内容に関しましてご通知申し上げ、また当社の今後の対応につきましてもご説明を申し上げます。

1) 検査成績表の表記内容の変更について

● 対象製品

日本軽金属名古屋工場において6月4日以降に作成された、アルミ板製品。

三和精鋼として取り扱う製品は 次の通りです。

A1050、A2017、A5052、A5083、A6061、A7075

のアルミ切板 フライス品 その他加工品

● 検査成績表の記載内容

- ① 規格： JIS H4000 ジュンキョと記載する旨ご通知しましたが、シャナイキカク(＊)と表示されます。添付サンプルの ①の部分
- ② 種類・質別： 合金種類の表記から【A】と【P】が削除され、例えばこれまでのA5052P-H112は 5052-H112の表示になります。添付サンプルの ②の部分
- ③ 欄外に次の文章が記載されます。
(＊)本製品はJISH4000に定める正しい方法で試験し、JIS規格値を満たしております。添付サンプルの ③の部分

2) 日本軽金属製品に関する当社のご提供する検査成績表について

この変更のため、今後当社がお客様に供給させて頂く日本軽金属の検査成績表につきましては、その製品がいつ日本軽金属で製造されたかにより、次の3種類の成績表が発行されることになりますので、その点ご理解を頂きたく存じます。

※ 日本軽金属から4月25日以前に出荷された製品
(今回の問題発生以前の製品＝JIS規格認定品)

検査成績表の記載内容

規格 JIS H4000

種類・質別 (例) A5052P-H112

欄外記載 なし

※ 日本軽金属から4月26日以降6月3日までに出荷された製品
(JIS準拠品)

検査成績表の記載内容

規格 JIS H4000 ジュンキョ

種類・質別 (例) A5052P-H112

欄外記載 なし

※ 日本軽金属から6月4日以降に出荷されたあるいはされる製品
(今回変更対象)

検査成績表の記載内容

規格 シャナイキカク(*)

種類・質別 (例) 5052-H112

欄外記載 (*) 本製品はJISH4000に定める正しい方法で試験し
JIS規格値を満たしております。

今後のご発注については、弊社の状況は上記の事情が継続致しますので、お取引先様が、JIS準拠品ではなく、必ずJIS規格 認証を必要とされる場合には、JIS規格品 とご指定を頂きたく、お願い致します。JIS規格品をご指定いただいた場合には他メーカーの製品を出荷させていただきます。

3) 日本軽金属のJIS準拠品に関する三和精鋼の判断

三和精鋼としては、今般の日本軽金属のJIS認証取り消しについては、日本軽金属によるメーカー保証について、一定の信用に足る物との判断を致しており、それは今後とも継続して参る所存です。従い種類質別の記号にA及びPの記号が無くなり、JIS準拠品でなく社内規格としての扱いになります。でも、これまで同様、お取引先様のご理解を頂き、可能な限り取り扱いを行っていきたいと考えております。この判断は 基本的にはJIS準拠品の、該当の引張強さにおいて、正しい検査方法で検査しても確実にJIS規格の数値を確保しているという見解に基づくものです。

4) JIS規格品のご指定について

一方、今後のお取引先様のご発注につきまして、JIS規格認証品を必要とする場合には、必ず JIS規格品とご指定を頂きますようお願い致します。JIS規格品をご指定頂いた場合には 日本軽金属で4月25日以前に出荷された製品か他のメーカーの製品を出荷させていただきます。

● このほかにご要望、ご質問 必要な資料請求がございましたら、どんな点でも結構ですので 恐れ入りますが下記連絡先までご連絡をお願い致します。

● 連絡先 三和精鋼株式会社 購買部部长 金子 または営業部 担当者
電話共通 0184-38-3811

以上取り急ぎご連絡申し上げます。

草々